

みんなの声を県政へ!!

県と市を結ぶ 力になります!!



いいじま 力男

市民の視点に立って
力いっぱい働きます

農業・観光の推進に
力を注ぎます

○ 県産農産物のブランド化の推進
○ 世界農業遺産に認定された
 峡東三市の観光農業の推進
○ フルーツ公園を中心に
 観光と果樹振興の推進
○ 観光の高付加価値化の発信

子育てしやすい
環境づくりに力を注ぎます

高齢者が笑顔で暮らせる
まちづくりに力を注ぎます

スポーツを通じて健康で
元気な地域づくりに
力を注ぎます

人街元気!! 誰も取り残されない社会の実現

地域が主役・元気な街づくり

子供たちには夢を・若者には希望を・高齢者には安心を

古屋雅夫 ふるやまさお
1954年12月7日生

- 経歴**
- 1954年 山梨市牧丘町牧平に生まれ、牧丘第三小学校、笛川中を卒業
 - 1973年3月 県立塩山商業高等学校卒業
 - 1973年4月 日本電信電話公社入社、東京・山梨で勤務
 - 2015年3月 (株)NTT東日本南関東を退職
 - 1975年~ 全電通・NTT労組役員、情報労連東京・山梨県協議会で役員を歴任
 - 2008年~ 連合山梨中部地域協議会議長
 - 2009年4月 山梨市議会議員選挙・初当選
 - 2013年4月 二期目・当選 教育厚生常任委員長等を歴任
 - 2017年4月 三期目・当選 副議長等を歴任
 - 2017年10月 山梨県議会議員補欠選挙・当選
 - 2019年4月 二期目・当選 現在に至る

- 県議会・団体**
- 現在・第117代「副議長」、議会運営委員、総務委員
 - 立憲民主党山梨県総支部連合会幹事長
 - 教育厚生委員会委員長
 - 政策立案等に関する副委員長等を歴任
 - 連合山梨議員懇話会会長
 - NPO法人都市農村交流支援センター副理事長
 - 山梨県社会福祉協議会副会長・理事等を歴任

古屋まさおの活動はこころをご覧ください。



山梨市の産業振興、地域活性化、災害・減災対策を目指す

- 「世界農業遺産」、「甲武信ユネスコエコパーク」、「ぶどう・桃などの果樹」、「ワイン」など山梨市が世界に誇れる地域資源を活かした峡東地域の地域活性化、観光振興
- 更なる果樹農業等の振興、生産性向上に向けた支援の充実
- 企業立地の支援による雇用と経済の活性化の推進
- 中小企業の「買上げ」に向けた事業支援
- 空き家バンクの活用を含めた移住・定住の促進
- JR東山梨駅周辺整備と「跨線橋」事業の推進
- 西沢溪谷登山道（滝見橋）の早期改修、観光事業の推進
- 山梨市駅南線の早期完成、日川橋架け替え整備の促進
- 「八幡バイパス」の事業促進及び、西関東道路・岩手インター・アクセス整備、国道140号三富・川浦～広瀬区間整備
- 農道38号線（岩手から市川区間）の早期開通の促進
- 畑地帯総合整備事業の推進
- 牧丘、三富など中山間地域における災害対策、道路等の強靱化

高齢者等福祉の充実を目指す

- 「誰一人取り残されない医療」や、へき地医療の支援、充実
- 高齢者が地域で安心して生活できる、在宅医療やデイサービス等の支援の充実

子育て、子どもが安心して成長できる地域社会、教育の実現を目指す

- 家庭の経済格差による、教育の格差のない社会の実現
- 教員の多忙化解消及び、働き方改革の支援、教育環境の整備

共生社会の推進を目指す

- 性差別による障壁を解消し、一人ひとりが活躍できる社会の実現
- 多様性を認め合う共生社会づくりに向けた条例の制定と、推進体制の確立

産業振興と県民生活の向上を目指す

- 水素や燃料電池を将来の基幹産業とするための人材育成、拠点の整備
- 農産物や観光資源といった「素材」を、最大限引き出す「付加価値」の推進

誰もが心豊かに安心して暮らせる山梨づくりを目指す

- コロナ感染症対策などに万全を期し、県民が健康で安心して生活できるための、医療・介護など福祉の充実
- 「物価高騰」などに対応できる、強靱な地域経済基盤の確立
- 「人を生み出す」教育の充実と、教育の格差が生じない社会及び、教育の推進



ふるや まさお お屋 (68歳)

だれかじゃない 投票するのは 私たち

投票日 4月9日(日)

山梨県議会議員一般選挙



武田信玄めいすいくん

- 投票時間 午前7時～午後8時（一部の投票所を除きます。）
- 期日前投票 4月8日(土)まで 午前8時30分～午後8時（一部の期日前投票所を除きます。）